

「くしの歯作戦」、 決行。

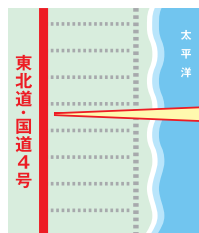
一刻も早く。

命の道を切り開く、一刻を争う戦いへ。

「くしの歯作戦」とは、内陸部を南北に貫く東北自動車道と国道4号から、「くしの歯」のように沿岸部に伸びる何本もの国道を、救命・救援ルート確保に向けて切り開く作戦のこと。

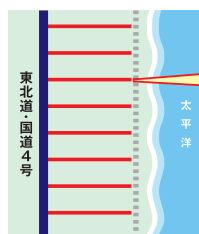
想像を超える巨大津波は、太平洋沿岸の各地に壊滅的な被害をもたらし、がれきや橋の流出で沿岸部の各地を孤立させた。地震発生直後、国土交通省 東北地方整備局の災害対策室には、幹部や職員が続々と集結。道路関係事務所や出張所と連絡を取り、被害確認と対策立案を急いだ。そして、直ちに、命の道確保に向けてルートを切り開く「くしの歯作戦」を決行した。

第1ステップ



内陸を縦走する
東北自動車道・国道4号の
縦軸ラインを確保

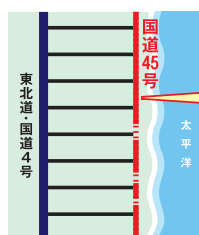
第2ステップ



東北自動車道・国道4号から
沿岸地域に通じる
横軸ラインを確保

3月12日 > 11ルート確保
3月15日 > 15ルート確保

第3ステップ



3月18日、
国道45号・6号の
97%啓開完了

沿岸地域を結ぶ
命の道が繋がった

